

外国語教育・国際理解教育の推進

小・中・高等学校において、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高め、国際理解を深めるとともにコミュニケーション能力の育成を図る。

児童生徒への系統的な外国語指導により、発達段階に応じたコミュニケーション能力の育成が図られる。
ALTや指導補助員等との交流などにより、国際理解教育のいっそうの充実が図られる。

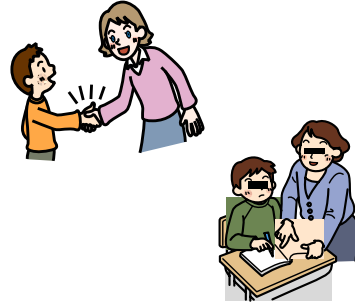
外国語指導助手（ALT）の配置

ALT10名を全幼稚園・小・中・高等学校に配置
英語教育及び国際理解教育の充実

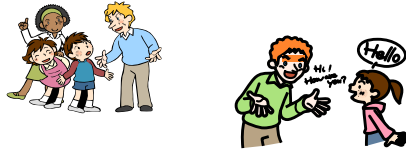


小学校外国語活動指導補助員モデル事業（5・6年対象）

指導補助員2名をモデル校8校に配置
学級担任の補助
ALTとの授業実践
国際理解教育の充実
中学校との学習指導に関する交流の推進



総合的な学習の時間（英語活動）
外国語や外国の文化に慣れ親しむ態度の育成及び国際理解教育の推進
外部人材の活用の推進



教育委員会

小学校英語研修会の実施（年3回）
ALT配置のためのブロック会議の実施（年2回）
外国語活動指導補助員の配置計画及び必要な研修の実施

外国語の習得には幼児期からの系統的な指導の連続が効果的
小学校外国語活動の実施に伴い、学校におけるカリキュラム整備や指導に関する研修が必要
小中学校間の連携による教員の指導力向上や協働研究が必要

指標と年度達成目標

指標	単位	19	20	21	22	23
1校当たりのALTの平均訪問日数	日	29	29	32	32	32
ALTとの授業が楽しい児童生徒の割合	%	45	50	50	50	50
外国語活動の楽しいと答えた児童の割合	%	—	—	60	65	—